

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人 山本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門	ファッション産業学科	夜・通信	2765時間	240時間	
	ファッション学科	夜・通信	1925時間	160時間	
	ファッション流通学科	夜・通信	1820時間	160時間	
	スペシャリスト学科	夜・通信	840時間	80時間	
	服装学科	夜・通信	1300時間	90時間	※
	服装技術学科	夜・通信	680時間	80時間	※
(備考) 夜間部は20数年入学者がいないため、2020年4月より募集停止を行う。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://chubu.cfc.ac.jp/シラバス/ にて公開
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 服装学科・服装技術学科
(困難である理由) 夜間部は20数年入学者がいない。今後も入学の見込みが無く、運営が困難になるため、2020年4月より募集停止するための学則変更を行う。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人 山本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

刊行物にて山本学園本部受付にて公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	自営業	2017年5月30日～ 2021年5月29日	学校運営に関する アドバイス
非常勤	住職	2017年5月30日～ 2021年5月29日	学校教育に関する アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人 山本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ファッション業界で求められる技術を持った人材育成のため、「カリキュラム検討委員会」にて審議検討し、決定した科目を実務経験者の教員と教務担当者を中心に毎年授業計画をたて、シラバスを作成し、それに基づき時間割を作成する。成績評価は「成績評価基準」に従い、「出席率」・「課題やレポート提出」・「前期・後期2回の試験」等で行い、公表する。シラバスは7月25日までに公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://chubu.cfc.ac.jp/シラバス/ にて公開
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各科目の評価・認定は、「成績評価基準」に従い科目ごとに行われる。「出席率」・「課題やレポート提出」・「前期・後期2回の試験」等により、教務担当者及び各教科担当者と判定会議を行い認定の可否を判定する。「課題やレポート提出」では学修成果としての評価を行う。「前期・後期2回の試験」は合計点で評価する。「出席率」は8割以上の出席が必要となる。「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行い合格点を取得。また不足出席時間数分の補講授業を受講することで科目認定が行われる。成績評価は「A・B・C」の3段階としており、「A・B・C」を合格(科目認定)、「不」を不合格(科目不認定)とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
履修科目の成績(点数)について、全科目の合計点の平均を算出。各科目の点数は100点満点とする。学年・学科毎に下記の通りまとめる。

学科： 学科 学年： 年 学生数： 名

指標範囲	0点 ～49点	50点 ～59点	60点 ～69点	70点 ～79点	80点 ～89点	90点 ～100点
人数						

下位1/4に該当する人数	人
下位1/4の指標点数	点以下

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://chubu.cfc.ac.jp/シラバス/>にて公開

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
卒業判定会議を通し、「成績評価基準」に従い本校所定の課程を終了し、各学科による必要科目認定を取得した者に卒業証書を授与する。科目認定は前述の「学修成果の評価基準」に記載のとおりであり、条件を満たしている必要がある。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://chubu.cfc.ac.jp/シラバス/>にて公開

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人 山本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	刊行物にて山本学園本部受付にて公開
収支計算書又は損益計算書	刊行物にて山本学園本部受付にて公開
財産目録	刊行物にて山本学園本部受付にて公開
事業報告書	刊行物にて山本学園本部受付にて公開
監事による監査報告（書）	刊行物にて山本学園本部受付にて公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	ファッション産業学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3150 単位時間	805 単位時間	単位時間 /単位	2345 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		3150 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		45人	0人	14人	15人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界に必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (%)	16人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業（デザイナー・パタンナー・アドバイザー・企画等）			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定・ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2018年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	3人	6.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更・結婚		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制により学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	ファッション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間	525 単位時間	単位時間 /単位	1575 単位時間	単位時間 /単位	
			2100 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	86人	0人	14人	15人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界に必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	27人 (71.1%)	11人 (28.9%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業（デザイナー・パタンナー・アドバイザー・企画等）			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定・ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2018年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
93人	9人	9.6%
(中途退学の主な理由) 病気療養・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	ファッション流通学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間	1050 単位時間	単位時間 /単位	1050 単位時間	単位時間 /単位	
			2100 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	19人	0人	14人	15人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界に必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (%)	9人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業（アドバイザー・スタイリスト等）			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2018年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	1人	5.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	スペシャリスト学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1050 単位時間	315 単位時間	単位時間 /単位	735 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1050 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	28人	0人	14人	15人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界に必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (%)	27人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業（デザイナー・パタンナー・アドバイザー・企画等）			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定・ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
2018年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	服装学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1600 単位時間	500 単位時間	単位時間 /単位	1100 単位時間	単位時間 /単位	
			1600 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	0人	0人	14人	15人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界に必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定・ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2018年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	服装技術学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	800 単位時間	200 単位時間	単位時間 /単位	600 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		0人	0人	14人	15人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界に必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定・ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2018年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッション産業学科	200,000 円	600,000 円	180,000 円	施設設備費
ファッション学科	200,000 円	600,000 円	180,000 円	施設設備費
ファッション流通学科	200,000 円	600,000 円	180,000 円	施設設備費
スペシャリスト学科	200,000 円	600,000 円	180,000 円	施設設備費
服装学科	50,000 円	132,000 円	30,000 円	施設設備費
服装技術学科	50,000 円	132,000 円	30,000 円	施設設備費
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度 (成績・部活・資格等) にて入学時に授業料や入学金の一部が免除になる。 ただし減免・給付対象者は施設設備費の一部が免除になる。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chubu.cfc.ac.jp にて公開		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
評価委員会 (企業・卒業生・地元住人等 4 名) を設立し、9 月頃委員会を実施。自己評価内容に従い、教育課程や進路・募集等の評価結果を真摯に受け止め、学校運営の改善点を見つけ、学校長中心に全教員にて是正する計画を立てる。出来る事から実施。		
学校関係者評価の委員 学校関係者評価を確実に実施し、2020 年度からその結果を公表するために委員の選任を行う		
所属	任期	種別
(株)ヤマダヤ 採用担当部長 八木邦彦	2019 年 9 月 1 日～ 2021 年 8 月 30 日	アパレル企業
リンカアソシエイツ(株) 取締役専務 澤田貴彦	2019 年 9 月 1 日～ 2021 年 8 月 30 日	卒業生
(有)アイム マネージャー 八木志保	2019 年 9 月 1 日～ 2021 年 8 月 30 日	卒業生
元信用金庫支店長 杉原啓次	2019 年 9 月 1 日～ 2021 年 8 月 30 日	地元住民
学校関係者評価結果の公表方法 2020 年度から評価を確実に公表する (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chubu.cfc.ac.jp にて公開		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chubu.cfc.ac.jp にて公開
